第19回 藤井もとゆきの 国政メモワール



前参議院議員／薬学博士　藤井（ふじい）　基之（もとゆき）

【我が国の薬学教育（その4）】

本誌「藤井もとゆきの国政メモワール」（第５～７回）（本誌Vol.45 No.12（2023）～Vol. 46 No.4（2024））では，我が国の薬学教育について，その萌芽期から６年制教育誕生までの経緯等を軸に記述しました。

今回は６年制課程が施行された2006年（平成18）以降の状況について触れます。

○制度成立から20年

2026年（令和８）３月，「新薬剤師8,749名の誕生」を告げる第111回薬剤師国家試験の結果が発表されました。６年制課程薬学教育卒業生（以下「６年制卒」）の初受験であった2012年（平成24）実施の第97回薬剤師国家試験から数えて15回目の国家試験となり，総計140,681名が合格，うち６年制卒の薬剤師は138,749名に達します。その試験回次別合格者数は，**表１**の通りです。６年制卒最多合格者数は第101回の11,309名，最少合格者数は第99回の7,222名。第104回以降，合格者数は受験者数の減少傾向に比例するかのように減少を続け，今回は９千名を割りました。

表１　試験回次別合格者数の推移

令和８年３月25日
厚生労働省医薬局

試験回次	合計			６年制新卒			６年制既卒			その他		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
	名	名	%	名	名	%	名	名	%	名	名	%
97（24年）	9,785	8,641	88.31	8,583	8,182	95.33	—	—	—	1,202	459	38.19
98（25年）	11,288	8,929	79.10	9,661	8,221	85.09	896	605	67.52	731	103	14.09
99（26年）	12,019	7,312	60.84	8,822	6,219	70.49	2,517	1,003	39.85	680	90	13.24
100（27年）	14,316	9,044	63.17	8,446	6,136	72.65	5,260	2,794	53.12	610	114	18.69
101（28年）	14,949	11,488	76.85	8,242	7,108	86.24	6,185	4,201	67.92	522	179	34.29
102（29年）	13,243	9,479	71.58	8,291	7,052	85.06	4,515	2,295	50.83	437	132	30.21
103（30年）	13,579	9,584	70.58	8,606	7,304	84.87	4,577	2,151	47.00	396	129	32.58
104（31年）	14,376	10,194	70.91	9,508	8,129	85.50	4,527	1,950	43.07	341	115	33.72
105（2年）	14,311	9,958	69.58	9,194	7,795	84.78	4,804	2,050	42.67	313	113	36.10
106（3年）	14,031	9,634	68.66	8,711	7,452	85.55	5,035	2,079	41.29	285	103	36.14
107（4年）	14,124	9,607	68.02	8,665	7,386	85.24	5,217	2,126	40.75	242	95	39.26
108（5年）	13,915	9,602	69.00	8,548	7,254	84.86	5,146	2,267	44.05	221	81	36.65
109（6年）	13,585	9,296	68.43	8,416	7,100	84.36	4,957	2,103	42.42	212	93	43.87
110（7年）	13,310	9,164	68.85	8,061	6,849	84.96	5,039	2,214	43.94	210	101	48.10
111（8年）	12,774	8749	68.49	7,781	6,711	86.25	4,871	2,013	41.33	122	25	20.49

出典：厚生労働省ホームページ

○私立大学薬学部教育

改めて言及するまでもなく，我が国の薬学教育，なかんずく薬剤師養成を主目的とする６年制課程は，私立大学に大きく依存しています。入学定員一つをとってみても，**表２**の通り，国立大学（14大学・14学部）は621人（14学科），公立大学（５大学５学部）は485人（５学科），私立大学（58大学62学部）は10,461人（65学科）。大学別の最多入学定員数は国立大学80人（大阪大学等），公立大学120人（岐阜薬科大学等），一方私立大学は420人（東京薬科大学等）と，一目瞭然です。

私立大学薬学６年制課程志願者の動向は，**表３**の通り。その志願倍率（志願者数／入学定員）は，近年低下しています。18歳人口の減少等による志願者数の減少がその原因と考えられ，「令和７年以降は６年制課程の新設を抑制する」との原則の決定等により入学定員の減員が図られるとしても，今後とも志願倍率の低下は否めません。

（注）入試合格者数は，入学定員を大きく上回る実態があり，志願倍率と実質入学競争率とは全く別のものとなります（**表５**参照）。

令和３年６月，厚生労働省の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」は，約１年間に及ぶ検討を終え「とりまとめ」を発表しました。その中で，将来的な薬剤師の供給過剰問題や適正な定員規模を含む薬学部教育の質の確保等に対し，強い懸念を表明しました。

令和４年８月には，文部科学省の「薬学系人材育成の在り方に関する検討会」が「６年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」を発表しました。何をもって薬学教育の質が測れるのか？という極めて難しいテーマに対する一定の解を示したものとも理解できます。

厚生労働省検討会の懸念等を配慮されたものかもしれませんが，「薬学部教育の現状と課題」として，私立大学に係る問題点が数多く指摘されています。

私立大学の実状の一端を文部科学省資料等からみてみましょう。

表４は入学定員充足率（３か年平均），**表５**は実質競争倍率（３か年平均）です。私立大学間の格差の大きさが分かります。

その他，標準修学年限での薬剤師国家試験合格率（３か年平均）は59.0％。50％以下の学校数は20校を超えます。もちろん，国家試験合格率のみをもって大学の良否を判断すべきではありません。大学教育が国家試験の予備校化することは決して好ましいことではないはずです。

加えて修学年限での卒業率（３か年平均）は67.9％。50％以下の学校数は14校を数えます。薬学以外の学問等に強い関心を持ち，その勉学等のため，本人が納得のうえ卒業を延期するのなら，標準的修学年限での卒業にこだわるべきではありませんが……。極めつけは退学等の割合の高さです。その割合（３か年平均）が25％超の大学数が10校を超える状況はいただけません。

かねてより，質的低下との指摘が絶えない私立大学薬学部の改革が，個々の私立大学の努力に，また各私立大学のよりどころであるはずの「建学の精神」のみに任せきれないものであるならば，国の対応が求められてしかるべきではないでしょうか。

表２　薬科大学（薬学部）学科別入学定員一覧　2025年（令和７年）度

【国立】

No	大学名	６年制 学科名	６年制 定員	４年制 学科名	４年制 定員
1	北海道大学	薬学科	30	薬科学科	50
2	東北大学	薬学科	20	創薬科学科	60
3	千葉大学	薬学科	50	薬科学科	40
4	東京大学	薬学科	[1] 8	薬科学科	[1] 72
5	富山大学	薬学科	70	創薬科学科	35
6	金沢大学	薬学類	65	薬科学科 創薬科学コース＊	18
7	京都大学	薬学科	15	薬科学科	65
8	大阪大学	薬学科	80	—	
9	岡山大学	薬学科	40	創薬科学科	40
10	広島大学	薬学科	38	薬科学科	22
11	徳島大学	薬学科	80	—	
12	九州大学	臨床薬学科	30	創薬科学科	49
13	長崎大学	薬学科	40	薬科学科	40
14	熊本大学	薬学科	55	創薬・生命薬科学科	35
	国立計（14大学14学部）	14学科	621 [1]	12学科	526 [1]

＊2年進級時にコース配属

【公立】

No	大学名	６年制 学科名	６年制 定員	４年制 学科名	４年制 定員
15	岐阜薬科大学	薬学科	120	—	
16	静岡県立大学	薬学科	80	薬科学科	40
17	名古屋市立大学	薬学科	65	生命薬科学科	50
18	和歌山県立医科大学	薬学科	100	—	
19	山口東京理科大学	薬学科	120	—	
	公立計（5大学5学部）	5学科	485	2学科	90

【私立】

No	大学名	６年制 学科名	６年制 定員	４年制 学科名	４年制 定員
20	北海道医療大学	薬学科	[4] (5) 160	—	
21	北海道科学大学	薬学科	180	—	
22	青森大学	薬学科	50	—	
23	岩手医科大学	薬学科	50	—	
24	東北医科薬科大学	薬学科	300	生命薬科学科	30
25	医療創生大学	薬学科	40	—	
26	奥羽大学	薬学科	100	—	
27	国際医療福祉大学	薬学科	180	—	
	（成田薬学部）	薬学科	120	—	
	（福岡薬学部）	薬学科	120		
28	高崎健康福祉大学	薬学科	90	—	
29	城西大学	薬学科	250	薬科学科	50
				医療栄養学科	100
30	日本薬科大学	薬学科	240	—	
31	順天堂大学	薬学科	180	—	
32	城西国際大学	医療薬学科	110	—	
33	千葉科学大学	薬学科	100	—	
34	帝京平成大学	薬学科	200	—	
35	東京理科大学	薬学科	100	生命創薬科学科	100
36	東邦大学	薬学科	245	—	
37	日本大学	薬学科	244	—	
38	北里大学	薬学科	260	生命創薬科学科	35
39	慶應義塾大学	薬学科	150	薬科学科	60
40	昭和医科大学	薬学科	200	—	
41	昭和薬科大学	薬学科	240	—	
42	東京薬科大学	薬学科	420	—	
43	星薬科大学	薬学科	260	創薬科学科	20
44	武蔵野大学	薬学科	145	—	
45	明治薬科大学	薬学科	360	生命創薬科学科	60
46	帝京大学	薬学科	320	—	
47	横浜薬科大学	健康薬学科	60	薬科学科	30
		漢方薬学科	120		
		臨床薬学科	160		
48	湘南医療大学	医療薬学科	130	—	
49	岐阜医療科学大学	薬学科	100	—	
50	新潟薬科大学	薬学科	130	—	
51	北陸大学	薬学科	60	—	
52	愛知学院大学	医療薬学科	145	—	
53	金城学院大学	薬学科	150	—	
54	名城大学	薬学科	265	—	
55	鈴鹿医療科学大学	薬学科	100	—	
56	京都薬科大学	薬学科	360	—	
57	同志社女子大学	医療薬学科	125	—	
58	立命館大学	薬学科	100	創薬科学科	60
59	大阪大谷大学	薬学科	100	—	
60	大阪医科薬科大学	薬学科	294	—	
61	近畿大学	医療薬学科	150	創薬科学科	40
62	摂南大学	薬学科	220	—	
63	神戸学院大学	薬学科	250	—	
64	神戸薬科大学	薬学科	280	—	
65	兵庫医科大学	医療薬学科	150	—	
66	姫路獨協大学※	医療薬学科	—	—	
67	武庫川女子大学	薬学科	105	健康生命薬科学科	60
68	就実大学	薬学科	100	—	
69	広島国際大学	薬学科	120	—	
70	福山大学	薬学科	110	—	
71	安田女子大学	薬学科	(2) [2] 100	—	
72	徳島文理大学（薬学部）	薬学科	150	—	
	（香川薬学部）	薬学科	90	—	
73	松山大学	医療薬学科	100	—	
74	第一薬科大学	薬学科	113	薬科学科	30
		漢方薬学科	40	—	
75	福岡大学	薬学科	230	—	
76	長崎国際大学	薬学科	120	—	
77	崇城大学	薬学科	120	—	
78	九州医療科学大学	薬学科	[3] [3] 100	動物生命薬科学科	40
	私立計（59大学62学部）	65学科	10,461 [7] (7) [5]	14学科	715

※2025年（令和7年）度より募集停止

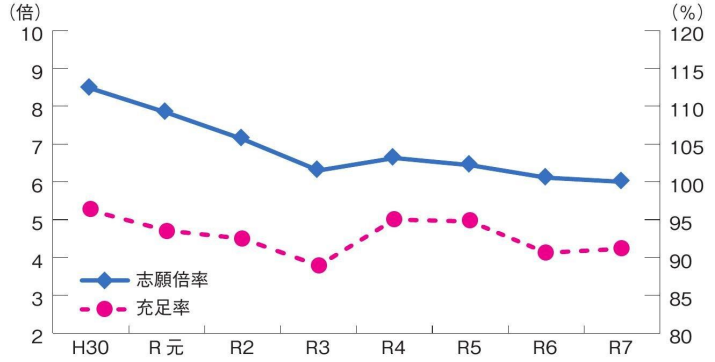
国公私立合計（78大学81学部）	84学科	11,567 [7] (7) [6]	26学科	1,331 [1]

注）［　］は第２年次編入学定員、（　）は第３年次編入学定員、
｛　｝は第４年次編入学定員 でそれぞれ外数である。

出典：文部科学省ホームページより

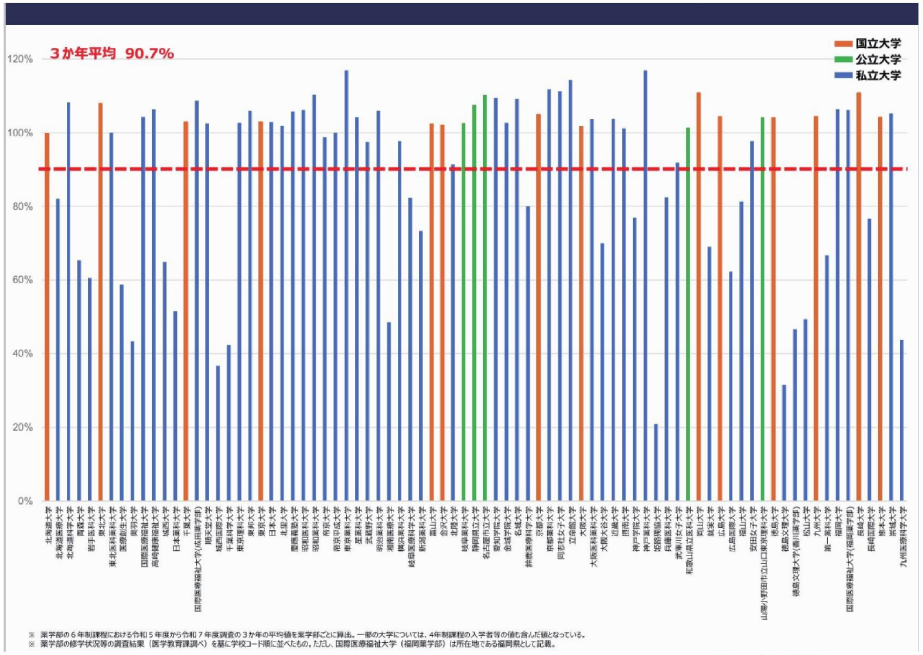
表３　私立大学薬学部（６年制）の志願倍率と充足率

年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学部数	57	57	59	60	60	60	62	61
志願倍率	8.40	7.83	7.13	6.30	6.63	6.44	6.11	6.00
充足率	96.21	93.55	92.49	88.92	95.01	94.76	90.62	91.14



出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学等入学志願動向」より

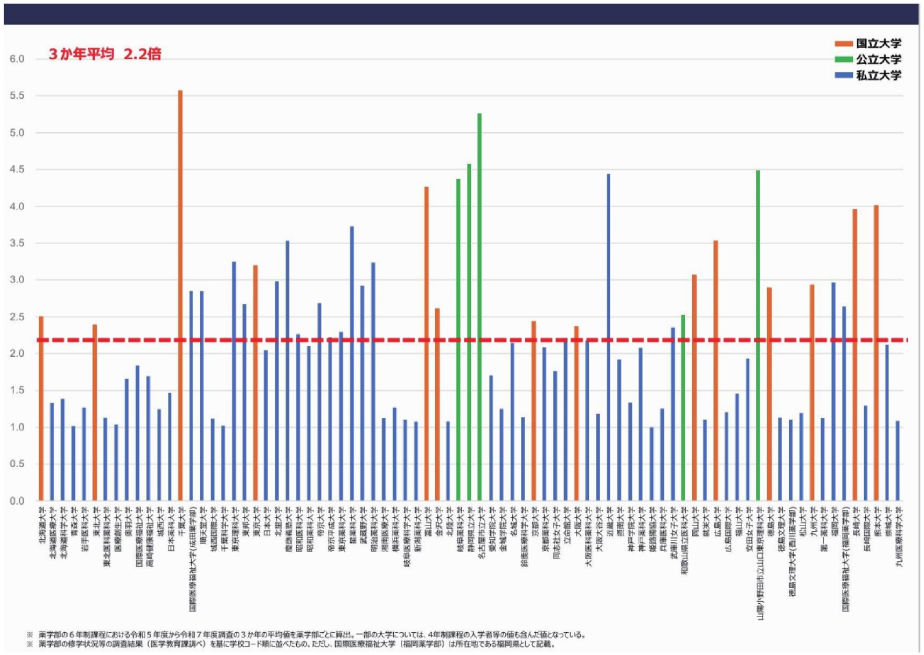
表４　入学定員充足率（３か年平均）



※ 薬学部の６年制課程における令和５年度から令和７年度調査の３か年の平均値を薬学部ごとに算出。一部の大学については、4年制課程の入学者等の値も含んだ値となっている。
※ 薬学部の修学状況等の調査結果（医学教育課調べ）を基に学校コード順に並べたもの。ただし、国際医療福祉大学（福岡薬学部）は所在地である福岡県として記載。

出典：文部科学省ホームページ

表５　実質競争倍率（３か年平均）



出典：文部科学省ホームページ

○薬学教育はどこへ

薬学教育６年制課程が誕生した当時，関連２法案が衆議院・参議院ともに全会一致で成立したにもかかわらず，一部の識者からは「これで薬学部の全盛期は終わった」とも言われました。

薬学部志願者の減少，薬学部の質の低下，創薬力の低下等々は，６年制課程の実施，及びそれに伴う薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂，合格決定に相対基準等を導入した「薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針」等がその一因だったのでしょうか？

人口減少の進行，国の科学技術振興策，世界における我が国科学技術論文の相対的低下（例えば文部科学省「科学技術指標」の指摘）等，日本国の動向と混同することなく分析されるべきでしょう。

2019年以降に発生し大流行したコロナパンデミックもほぼ収まりました。少子高齢化・人口減少の進む我が国の将来状況を見据えた新たな薬剤師需給予測，その設立母体（国立・公立・私立）ごと，及び各大学ごとの特性と全体のバランスを配慮した，世界に冠たる日本薬学教育の将来設計が求められます。

多様な夢のある薬学像・薬剤師像の提示を！

東京都薬剤師連盟のページ（広告）　れんめいのフォーマル

神谷まさゆき　活動報告



神谷まさゆき議員の
活動報告を紹介します！

「中東情勢の影響を受けている医薬品・医薬物資の確保対策本部について」
軟膏容器等の中東情勢が薬局に影響を与えている件で、厚生労働省と対応について協議！
薬局による情報数が少ないとのこと
G-MISのフォームから厚生労働省への情報提供ができるそうです

みなさまの
現場の情報が後押しになります
ぜひご活用をお願いいたします！

https://www.mhlw.go.jp/stf/chuto-josei.html

薬局訪問はじめました。



薬局訪問情報

６月は文京区、大田区の
薬局へお伺いする予定です！

あなたの薬局へお伺いするかも!?